



文化部門担当職員の言葉

青翔祭文化部門担当

文化部門に向けての合唱練習は、定期テストが一段落した七月からスタートしました。最初は自分が歌うパートの音取りから始めます。一年生は初めての三部合唱であり、テノールパートの音源を聴いたときは驚いた表情をしていました。2年生、3年生は昨年度に比べ難易度が上がった曲に取り組み、何度も繰り返して練習したり、難しい部分をピアノで音程やリズムを確認しながら練習をしました。

夏休みが明けて文化部門に向けての動きが本格的に始まると、合唱委員・パートリーダーを中心に学年・クラスの合唱を創り上げる段階になります。そのなかで生徒たちは、「歌詞の情景を理解し、言葉を他人事ではなく、自分事として気持ちを込めて歌いたい。」「最後のサビは聴いている人の感情を揺さぶるような、響きのある声で歌いたい。」など思いをもち、それを実現させるために楽譜を読み込んだり、みんなで窓の外に向かって思い切り歌ったりと試行錯誤しながら練習を積み重ねていきました。私が音楽の授業で課題解決に向けてアドバイスや指導をするとすぐに歌声に変化が見られ、生徒たちの吸収力の高さには驚かされました。そしてなにより嬉しかったのは、生徒たちが「みんなで歌う」という活動を楽しんでいたことです。休み時間になると、廊下や教室から友達と声を合わせて朗らかに歌う声がよく聞こえてきました。前日には生徒会のメンバーが肩を組みながら大合唱をしていて、まさに「音を楽しむ。」という音楽の本質を体現しているなど感動しました。

文化部門という活動を通して、目標を決め、それに向けて行動する。また、それを友達と楽しんで取り組んでいくことで、成長していく。という生徒たちの姿を見届けることができました。また来年度に向けて、私も研鑽を積んでいきたいと思っています。

「分からない」から「できた」へ：
文化部門がくれた自信

合唱委員副委員長 1年

私たち1年生は、今年入学し、文化部門がどのような行事でどんな練習をすればいいのかわからないことが多くありました。しかし、先生や先輩の力を借りて積極的な練習に取り組み本番を迎えることができました。委員会では、スムーズに進むよう原稿を何度も確認するなど、自分にできる最大限の努力をしました。本番では、練習を思い出し、努力の成果を生かして、50周年の節目にふさわしい歌声を響かせることができました。また、一人ひとりの歌声が合わさり聴いている人を前向きにすることができたと思いました。しかし、改善点もありもっと声量を出し、強弱がつけられると感じました。この改善点を生かし、来年はさらにいいものにしたいと思います。私は、文化部門を通して、先を見通し積極的に行動する力、自分の思いを乗せて届ける力、協力する力が身についたと思いました。この力を生かして、これからの学校生活や行事を行っていきたいと思います。

最上級生へのバトン：文化部門を振り返る

合唱委員副委員長 2年

楽しかったこと、苦労したこと。そして、数々の達成感。文化部門を振り返ると、様々な気持ちが溢れ出します。この文化部門で、私はたくさんの経験ができました。去年から発表会形式に変わったこの文化部門ですが、賞がないならやりたくない、という感情は一切なく、去年より一層、合唱に磨きがかかっているように感じました。

そして来年、私達2年生は最上級生である3年生になります。「後輩に合唱を繋いでいくんだ」という意思を持ち、日々の積み重ねを大事にしていきたいです。

合唱委員会委員長

3年合唱委員

当日に向けた練習では各学年ごとにある目標・思いを学年で一つにして日々取り組んでいたと思います。

一年生は、初めての文化部門でどんな練習をすればいいかわからないままの毎日だったと思います。本番の合唱では学校生活と変わらず元気でやる気に満ち溢れた合唱が作り上げられていてとても嬉しい気持ちになりました。二年生は、後輩ができたことで今までになかった緊張感や、「去年を超えたい」という学年の強い思いが合唱練習にも表れ、本番の合唱では学校生活ではなかなか見ることのできない二年生の頼もしい姿をみることができました。三年生は、最高学年としての自覚を持ち、中学校で最後の学年練習に一生懸命取り組んできました。歌詞の意味をみんなで共有し、各パートごとに強弱を統一するなど、これまでの経験を生かした有意義な練習となり、本番でも「三年生らしい」と感じてもらえるような合唱を作り上げることができたと思います。

全校で積極的に合唱活動に向かえたことが、50周年式典での全校合唱に繋がり、グリーンホールいっばいに響き渡る合唱となりました。この全校での繋がりを次年度に継続していけたら、相武台中学校の歴史にまたひとつ歴史を重ねることができると感じています。

合唱の練習をしていく中で、この赤学年は、歴代の三年生の中でもきっとよいと思ってもらえる合唱になるぞと感じていました。声を合わせていけば、きっと心も合わさった歌声になるのではないかと、そんなことを感じながら当日をむかえました。学級合唱では、自分たちの合唱がこれでラストになると思うとどこか寂しい気持ちが湧いてきましたが、それよりも楽しみが上回っていました。ステージに出て曲紹介をしているときは、緊張と高揚感がありました。ピアノの音が流れると歌詞をかみしめ、思いをのせながら歌い切りました。みんなで、合唱できて楽しかったという思いとやりきった達成感でいっぱいでした。ただ、これが最後と思うと、ちょっとの寂しさもありました。他のクラスのみんなも同じ気持ちだったと思います。

学年合唱では、始まりの音を全員で息を合わせて始められたことで、みんなの気持ちが一つになりました。最後の盛り上がりでは、今までのどの練習よりも迫力があつたと感じています。「また、会おう」の言葉に、残された私達の時間を大切にしたいという思いと「絆」はずっと続くという思いを込めました。3年生らしい合唱だったと感じていただけていたら嬉しいと思っています。

あと、残るみんなで歌う合唱は、卒業式です。三年間積み重ねてきたことを今まで支えてくれた親、仲間、先生方に伝えられる、心に響き、記憶に残る合唱にしたいと思います。



3年 学年合唱「群青」

文化部門の思い出



1年学年合唱 「マイバラード」



2年学年合唱「MIDORI ～繋がる輪へ～」



3年学年合唱「群青」

体育部門担当職員の言葉

青翔祭体育部門担当

体育部門閉会式を無事迎えられた時、皆のやりきった表情を見て”本当によく頑張った。感動をたくさんありがとう”そんな気持ちが自然と込み上がってきた体育部門でした。

当日、皆のいろんな表情や感情を見ることができました。練習で一度も勝ったことがなかった種目で一位を取れて喜んでいる姿、大縄の回し手として縄がうまく回せず悔し涙を見せている姿、やり遂げたあとの満面の笑顔…きっとその表情や感情に現れる嬉しさや悔しさはここまでの練習を一生懸命頑張ってきたからこそ感じられた証だと思います。目標に向かって努力する姿、本当にかっこよかったです。この熱い思いを胸に、1・2年生は来年の青翔祭に、3年生は進路に向けてまた次の一步を踏み出してくれることを期待しています。たくさんの感動をありがとう！

仲間と共に築いた達成感

保健体育委員会委員長

私は体育部門を終えて大きな達成感をえました。振り返ると、体育部門を迎えるにあたって2～3ヶ月程前から委員会で準備を進めてきました。この期間は練習計画の作成や応援合戦の制作など体育部門が成功するために自分たちができることをそれぞれの学年やブロックで話し合いを重ね、一生懸命活動をしました。

今年の青翔祭は昨年度と違い、文化部門と体育部門の日程が近かったため、同時に練習を進めていきました。そのため、毎日怒涛の日々を送っていましたが、体育部門当日大きな問題もなく、皆で作った体育部門が無事成功してくれたことが委員長としてとても嬉しかったです。

1、2年生には、これから相武台中学校を引っ張っていく立場として、この50年の伝統を引き継ぎ、来年も頑張してほしいです。行事を成功させるためには仲間を大切にすること、そして「誰かがやってくれるから」と人任せにするのではなく、全員

が全力で取り組むことが必要です。部活や勉強といったやるべきことはしっかりと取り組みつつ、来年度の青翔祭を楽しみ、頑張ってください！

3年生に感謝、 来年へ繋ぐ青翔祭へのメッセージ

保健体育委員会副委員長

私は、体育部門を終え改めて3年生に感謝したいと思いました。50周年の節目となる体育部門では、新しい種目として応援合戦が行われ準備がとても大変だったと思います。ですが、3年生は僕達に応援合戦の振りや競技のルールなど優しく丁寧に教えてくれました。自分の委員会での仕事も大変でしたが、3年生が頑張っている姿を見て一緒に頑張ることができました。ありがとうございました。

1年生のみなさん、初めての青翔祭はどうでしたか？何もかも初めてだったと思いますが、学年種目のローハイドはクラスで団結し一生懸命取り組んでいる姿がとても印象的でした。来年は先輩として1年生を引っ張っていけるように頑張ってください。

2年生の皆さん。来年は最上級生となり、青翔祭を作り上げていく立場です。進路選択もあり、大変な日々が続くと思いますが、来年の青翔祭では今年を超えられるよう皆で盛り上げていきましょう。皆さん、青翔祭お疲れ様でした。

先輩に学び、達成感を味わった体育部門

保健体育委員2年

私は今年初めて保健体育委員として体育部門を経験しました。自分が思っていたよりもクラスをまとめることやたくさんの練習の計画を立て実行することが難しく大変でした。特に応援合戦や全員リレーなど初めての競技が多く不安でしたが、保健体育委員や応援団の先輩など3年生全体が主体となって話し合いや練習を引っ張ってってくれたことがとても心強かったです。私は当日どのプロ

ックも競技や応援を全力で楽しんで取り組んでいる様子を見て、体育部門に対しての達成感をとても感じることができました。来年の体育部門では最上級生としての自覚と主体性を持ち1、2年生を積極的に引っ張って行けるよう頑張りたいです。

委員の経験が教えてくれた 学年の良いところと課題

保健体育委員1年

初めての青翔祭体育部門を通して、僕が成長したと思うところは、みんなをまとめることです。完全にはまとめられませんでした。保健体育委員として、準備・運営や学年練習の計画立てなどを、学年の皆に指示を出すことによってこの力が伸びたと思います。学年としては団結力が高まったと思います。練習をしていくたびに仲間を応援する声が増えたり、学年種目では先にゴールしたチームが他のチームを応援しているのを見かけました。

その一方で委員が説明をしているときに私語をしている人もいて、メリハリをつけることがこの学年の課題だと思いました。来年の青翔祭では学年の良いところをさらに伸ばし、メリハリをつけられるようにして取り組みたいと思います。また、それだけではなく、2、3年生に引っ張ってもらったように来年は自分たちが新1年生を引っ張れるようにしたいです。

体育部門の思い出



練習の成果もあり、猛スピードで台風が駆け抜けていきました。

息がぴったりのバトンパス



狙いをすましてヒット！騎馬の人たちも頑張りました





迫力の棒引き



見事なド根性野菜が成りました



太鼓の響きに合わせ、熱き心で赤鳥が舞う



3年生の団結力が見られたムカデ競争
最速のムカデは3年3組でした。



気合の入った青龍のワッショイ



3年生はさすがに圧巻の走りでした



PTA本部の皆様
受付1日ありがとうございました。

今回、練習と準備段階から生徒たちの様子を見て、3年生を中心に自主的に青翔祭を盛り上げていこうという姿勢、そして当日の全力で競技に参加する姿に感動を覚えました。3年生にとっては最後の青翔祭でしたが、その姿は1・2年生が引き継ぎ、来年はさらに素晴らしい青翔祭にしてくれると思います。

保護者の皆様

生徒への熱い声援ありがとうございました。生徒たちは合唱と体育両方の練習を乗り越え、素晴らしい発表・競技をみせてくれました。これからも本校生徒への応援、そして本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

11月

の主な予定

- 2日(日) 試験前諸活動停止
- 5日(水) 定期試験(社数国)
- 6日(木) 定期試験(理英保)
- 10日(月) 2年職場体験学習 OT、1・2年学力テスト
- 12・13日(水・木) 2年職場体験
- 14日(金) PTA 環境整備②
- 17日(月) 1年職業講話
- 25日(火)～28日(金) 3年進路面談